



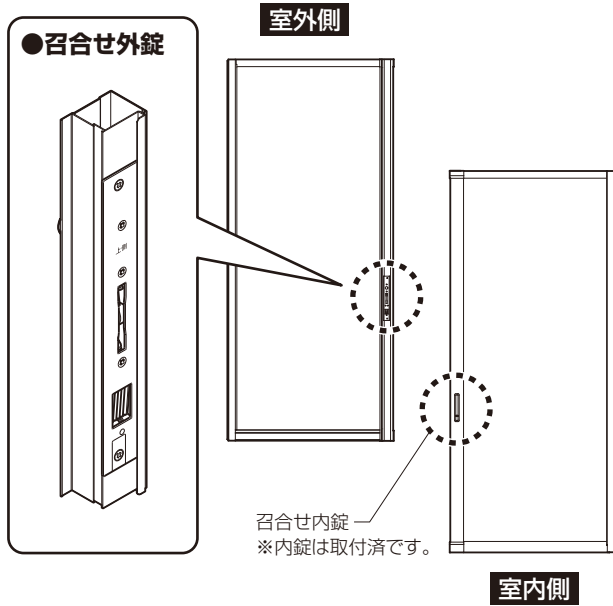
LIXIL

召合せ錠

取付け説明書

- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。掲載番号順に施工してください。
- この説明書は、施工後、施主さまにお渡しください。

■取付け完成図



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	シリンダー筒は室外側の切欠き中央にくるように取付けましたか？	☐
2	4枚建の場合、外錠本体のR、Lは正しく取付けましたか？	☐

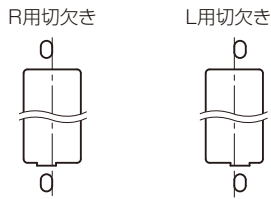
■部品明細

			
	外錠本体	ハサミナット	取付けねじ M4×16
入数	2枚建 4枚建	1 R/L 各1	1 2

■取付け順序

取付け上のお願

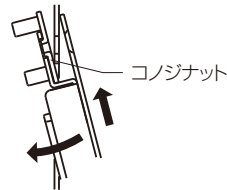
- シリンダー筒が室外側の切欠き中央にくるように取付けてください。シリンダー筒と切欠きが接触し、キー操作が重たくなることがあります。
- 4枚建の外錠本体には勝手(R/L)があります。障子の室内側にはR用、L用の切欠きがあります。切欠きにあった錠本体を取付けてください。
(2枚建の場合はR用が同梱されています。)



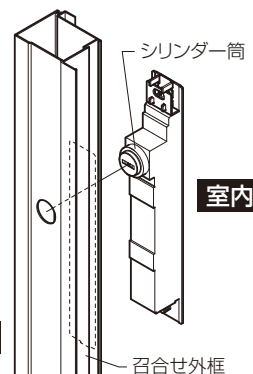
室内側

- ①ハサミナットを框切欠き下部に、框をはさみ込むように取付けます。
- ②外錠本体を斜め下から差込みます。
- ③本体を起こしながらシリンダー筒を室外側の切欠きに差込みます。
※シリンダー筒が切欠き中央にくるように取付けてください。
- ④取付けねじ(M4×16)で固定します。

②外錠本体の差込み



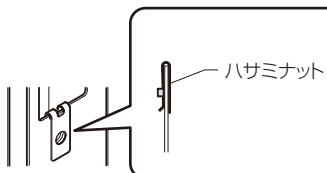
③シリンダー筒の差込み



室内側

室外側

①ハサミナットの取付け



ハサミナット

室外側

召合せ外框

シリンダー筒

外錠本体

室内側

取付けねじ

②外錠本体の差込み

■調整方法

調整上のお願い

- 外障子の戸車を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)

※本錠は調整が不要です。建付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。

- ①施解錠操作を実施してください。
⇒問題なければ終了、問題があれば②以降へ
- ②建付け調整を行い、外錠と内錠の高さ方向のズレを5mm以下にしてください。

<外障子の戸車が上がっている場合>

- ・内錠の取付けねじをゆるめて錠本体を上へずらして再度固定してください。

<内障子の戸車が上がっている場合>

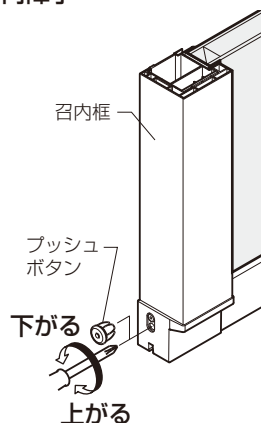
- ・外障子の戸車も上げて調整してください。

●戸車調整

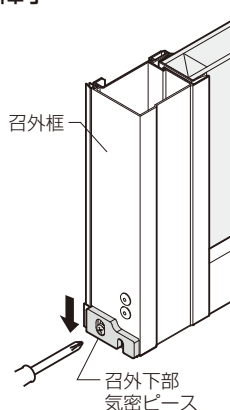
プッシュボタンをいったん外して調整します。
(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)

※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

内障子



外障子



※調整後はしっかりねじを締めてください。

■召合せ錠の取扱い方法

召合せ錠取扱い上のお願い

- 安全装置機能があるため、障子を閉めないで操作部の施解錠操作ができません。
- 市販の潤滑剤※は故障の原因となるため、別売の鍵穴用潤滑剤を塗布してください。
(※スプレー式潤滑油、機械潤滑用油脂類)

●ご理解いただきたい事象

※必ず起こる事象ではなく、商品特性により起こる可能性がある事象です。

- ①解錠時、操作が固くなることがあります。

<原因>

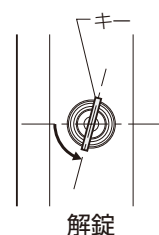
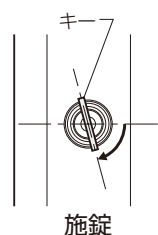
- ・施錠状態で、開け方向に強い力が加わると錠にズレがおこるため、内部機構を破壊させないためのものです。

<対処方法>

- ・一度障子を閉め方向に動かすと解錠操作が軽くなります。

●施解錠操作方法

室外(キー操作)



室内(バー操作)

